

Creative Application A20

メディア実装の勘所1

知覚の連携「マルチモーダル・メディウム」

2025年度

渡邉 賢悟 (渡辺電気株式会社)

ここまでのまとめ

- メディア実装の4つの基礎
 - ノート:自分の実装の動機
 - メッセージング:メディア表現の性能向上
 - ・ コミュニティ:場の形成と実装実践・社会接続
 - アーカイブ:実装の維持管理・継承

上記の要素を念頭に、メディア・モデルの視点から実装の勘所を探っていく

本日のテーマ

1つの情報・多角表現展開・知覚総体の相乗効果

[A05] メディア・サイクル

維持・継承 過去の創発が 次世代の場へ

場

異なる分野の人々が 集結するきっかけ 出力・共有

思考のつなぎ メディア化促進

創発

相乗効果と偶発で発生する融合分野

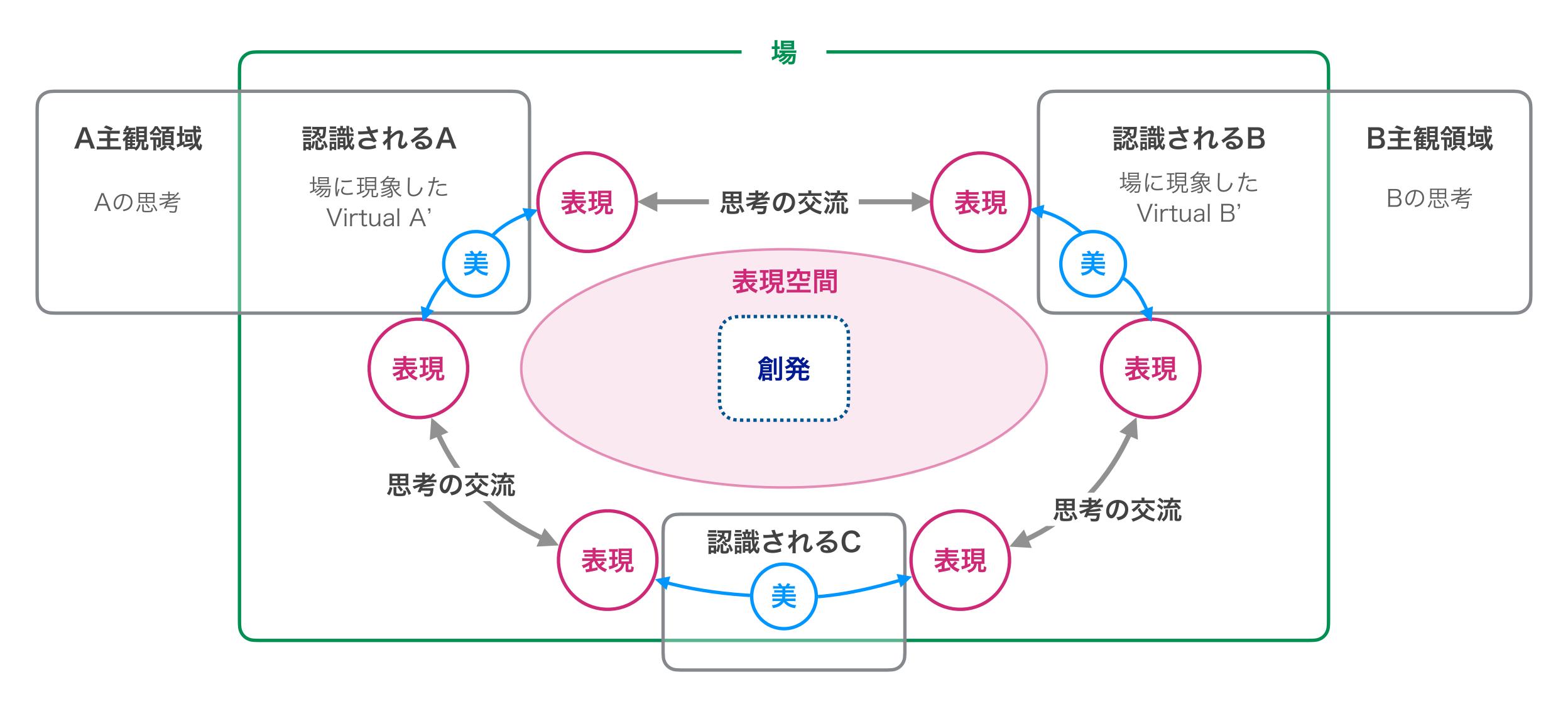
記録・蓄積

表現

思考交流の中で生まれる試行錯誤

各分野の融和

[A12] メディア・モデル



マルチモーダル1 - 複数の知覚

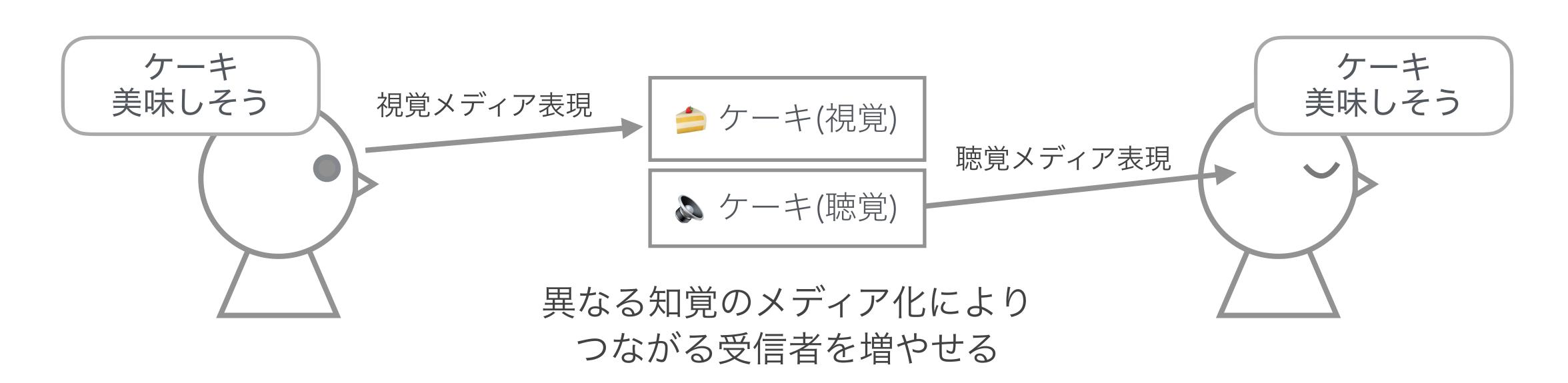
マルチモーダル

- 「複数の手段による…」などの意(デジタル大辞泉)
- ある物事に複数の知覚を通してアプローチするときに用いられる

- アルチモーダル・アクセシビリティ:複数の知覚経路で表現を展開する
- アルチモーダル・メディウム:複数の知覚を接合した知覚総体を捉える

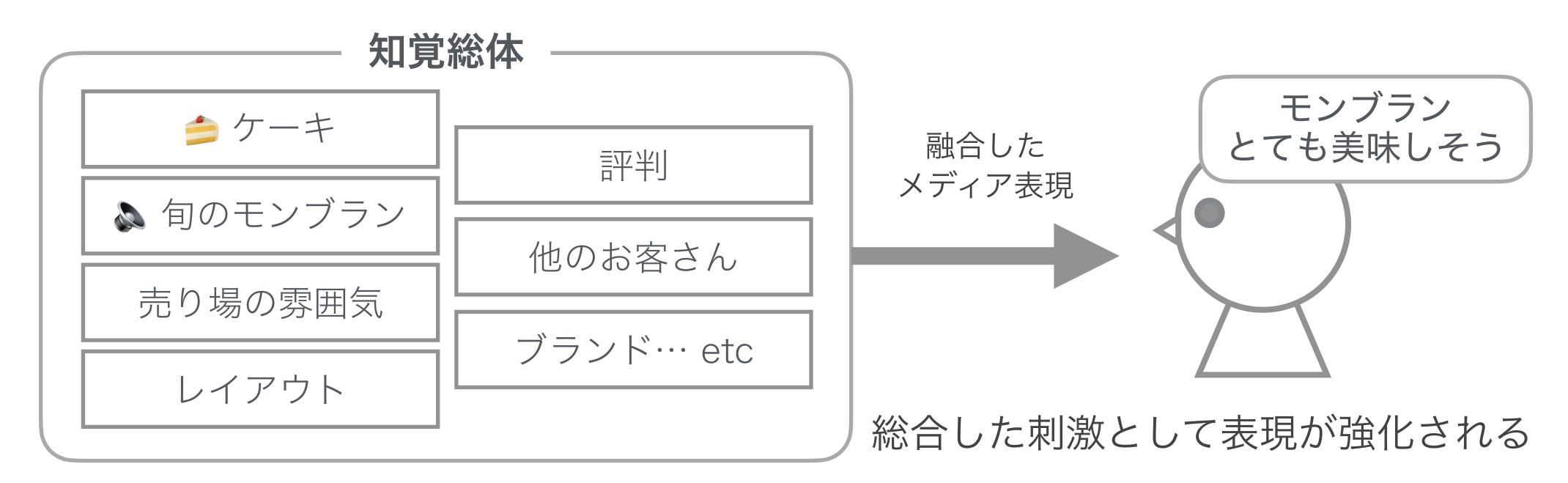
マルチモーダル2 - 経路の多角化

- 受信者が接続しやすいメディアでメッセージに接触できる
 - つながりやすくなることで、メディア化が活発になることを期待できる
 - マルチモーダルの主な効用として挙げられる (マルチモーダル・アクセシビリティ)

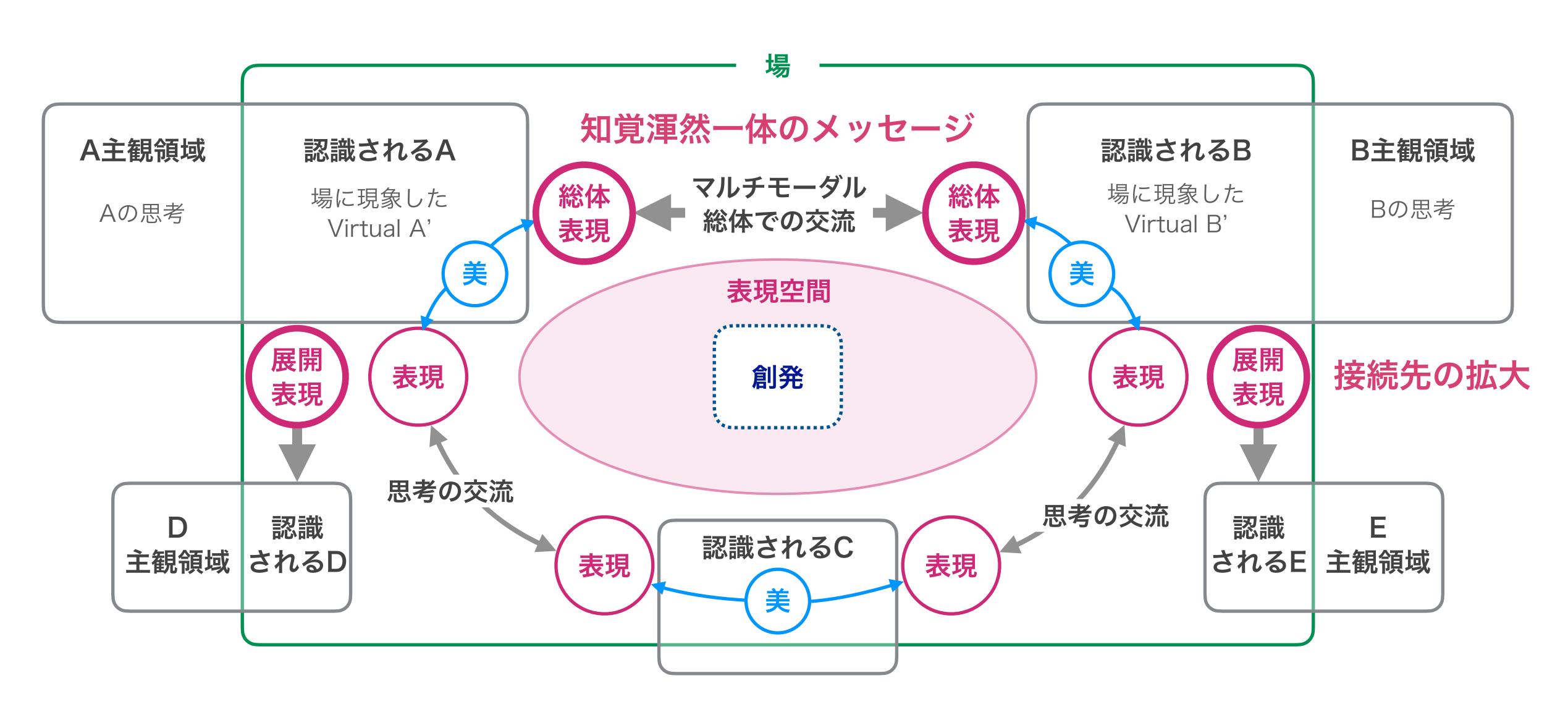


マルチモーダル3 - ひとまとまりの知覚

- 複数知覚をつないだ知覚総体
 - 総体が単純合計以上の相乗効果を生む → 知覚総体の創発といえるか?
 - 知覚総体によるメディア表現の活性と昇華(マルチモーダル・メディウム)



メディア・モデルとマルチモーダル・メディウム



まとめ

- 1つのメッセージをさまざまな知覚を用いて表現するマルチモーダル
- 発信の多角展開だけでなく、知覚同士のつながりに着目した

マルチモーダル・メディウム

- 複数知覚をつないで構成される知覚総体
- 知覚総体の相乗効果によりメディア表現が昇華される
 - ・ 美を表現する可能性も広がり活発になりうる [A07]
- メディア実装においては…
 - 実装の意義や魅力をいかに広めるかは肝要、知覚総体は意識して活用すべき

本日の談義・考察一助

- a. マルチモーダル・メディウム形成における障壁を挙げてほしい
- b. マルチメディアとマルチモーダル・メディウムの相違点はなんだろうか

C. マルチモーダル・メディウムのメディア表現の具体例を挙げて欲しい

d. メディア実装とマルチモーダル・メディウムの関係を整理したい

次回予定

メディア実装の勘所2 存在と現象「ヴァーチャル・リアリティ」

参考文献

- 1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
- 2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
- 3. 飲茶,「史上最強の哲学入門」,河出文庫,2015
- 4. 飲茶,「史上最強の哲学入門東洋の哲人たち」,河出文庫,2016
- 5. 森田真生,「数学する身体」,新潮社,2018
- 6. 西田幾多郎,「善の研究」,青空文庫,1979
- 7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
- 8. 竹田青嗣,「現象学入門」, NHK出版, 1989
- 9. 岡本 裕一朗, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
- 10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
- 11.マルクス・ガブリエル著,清水 一浩訳,「なぜ世界は存在しないのか」,講談社選書メチエ,2018
- 12.アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳,「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
- 13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
- 14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳,「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
- 15. 沼上幹,「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004